

平成28年度事業報告

自 平成28年4月 1日

至 平成29年3月31日

I 事業の状況

1 概況

平成28年度は、あづま総合運動公園、福島空港公園及び逢瀬公園・福島県総合緑化センターについては、第3期の指定管理者として、福島市民家園については、第2期の指定管理者として、それぞれ3年目の管理運営に当たった。引き続き、来園者に快適かつ安全な施設を提供するため、定期的な巡回や点検など施設の適切な維持管理や緑化の推進に努め、管理する公の施設の健全な発展と公共の福祉の増進に寄与するよう取り組んだ。

事業の実施に当たっては「効率的業務執行」と「サービスの向上」を基本とし、利用者のニーズに合わせた事業を展開した。

スポーツの普及指導においては、子どもを対象とした水泳や球技、体操などの各種スポーツ教室の開催のほか、テニス大会やウォーキング大会等を主催するとともに、各種団体との共催により多岐にわたるスポーツイベントを実施した。

レクリエーションの普及指導においては、「春の感謝デー」や公園の宿泊体験の実施、関係団体と連携した「ふくしま手づくりマルシェ」と「あづまT e s h i — g o t市場」の開催に加え、子ども達に公園内の陸上競技場で思いっきり身体を動かして遊んでもらう「あづま子どもまつり」の実施、夏場のサイクルスポーツ広場を涼しく、楽しく利用いただくためのミスト装置の設置などを行った。

緑化の推進普及においては、公園の季節ごとの魅力や見どころを伝える「公園の自然探訪」や自然の魅力や楽しみ方を伝える人材の育成を目指した「公園の達人宿泊体験」の実施、公園施設の利活用を図るための「あづま香りのバラ園まつり」、「サクラ、イチョウ等の四季のライトアップ」など、緑化に関する体験会やイベント等を開催した。

大規模なイベントとしては、あづま総合運動公園で、「東京2020ライブサイト in 2016ーリオから東京へーオリンピック競技大会」（8月21・22日）、「同パラリンピック競技大会（9月19日）」、「ザ・イエローモンキー・コンサート」（8月27・28日）や音楽を通じて社会貢献活動を呼びかける「ロックコープス」（9月3日）などが開催された。

* 以下、「あづま総合運動公園」を「あづま」、「福島空港公園」を「空港」、「逢瀬公園」を「逢瀬」、「福島県総合緑化センター」を「センター」、「福島市民家園」を「民家園」という。

II 事業概要

1 スポーツ・レクリエーションの普及指導及び体力の増進に関する事業【公益目的事業】

(1) スポーツの普及指導事業

1) スポーツ教室

子どもを対象とした「小学生初心者水泳教室」や大人を対象とした「ワンポイント水泳教室」、「親子で楽しむ運動教室」、「正しいウォーキング教室」等のスポーツ教室を開催し、県民の運動意欲の高揚に資するとともに、公園施設利用者の増加に努めた。

場 所	事業名	対 象	実施日	回 数	延べ参加者数
あづま	あづまガールズ サッカースクール	小学生～ 中学生の 女子	隔週水曜日 4～3月	24回	216名
	子どもハンドボール体験会	小学生	4～3月	14回	58名
	ワンポイント水泳教室	プール 利用者	4～6月 10月～3月	36回	208名
	正しいウォーキング教室	一般	4～6月 9～11月	6日×2期	81名
	親子で楽しむ運動教室	幼児・親	5～7月 10～12月	12回	284名
	小学生初心者水泳教室	小学生	5～11月	6日×4期	610名
	小学生陸上競技教室	小学生	4/8～4/27	6日×1期	164名
	はじめての一輪車教室	小学生	6/26、9/25	1日2部 ×2期	64名
	子どもわんぱく体操教室	小学生	1/6～15	6日×1期	102名
	小学生水泳教室	小学生	2/18～3/5	6日×1期	106名
空 港	みどりの中のヨガ教室	一般	4/9、6/11、 8/6、10/8	4回	76名
	ノルディックウォーキ ング体験会	一般	4月～3月	24回	399名
	公園で楽しく太極拳 教室	一般	4/24、7/17、 9/17	3回	33名
逢瀬、 センター	ノルディックウォーキ ング体験教室	一般	4月～3月	46回	546名

2) スポーツ大会

マスターズテニス大会やパークゴルフ大会を主催するとともに、ウォーキング大会、サッカーフェスティバルなどを各種スポーツ団体と共催し、県民のスポーツ参加に寄与した。

場 所	事業名	対 象	実施日	延べ参加 選手数
あづま	第 32 回福島市スポーツ少年団 バレーボール競技大会	小学生	4/23、24	260 名
	第 5 回あづま総合運動公園チーム対抗 テニス大会（人工芝完成記念大会）	一般	5/1	188 名
	第 32 回全国小学生陸上競技交流大会 県北地区予選会	小学生	6/4	700 名
	第 7 回あづま総合運動公園 マスターズテニス大会	一般	6/16	136 名
	第 9 回あづまカップ パークゴルフ大会	一般	7/2	161 名
	第 32 回全国小学生陸上競技交流大会 福島県選考会	小学生	7/3	1,530 名
	陸上競技投てき・跳躍講習会	中学生～ 一般	8/8	240 名
	第 16 回 Me&You サッカーフェスティバル	小学生	8/13、14	686 名
	第 35 回福島県サッカー スポーツ少年団選抜大会	小学生	8/27、28	500 名
	第 21 回ミニバスケットボール チビっ子フェスティバル	小学生 低学年	9/11、12	1,200 名
	第 12 回西方部親善木球大会 兼あづま杯木球大会	一般	9/22	45 名
	2016 ふくしま健康マラソン大会	幼稚園児～ 一般	10/16	1,802 名
	第 24 回あづまカップ 福島市ゲートボール交流大会	一般	10/20	78 名
	第 39 回総合運動公園庭球場オープン 記念ダブルステニス大会	小学生、中学 生、一般	10/23、30	270 名
	第 14 回あづまの郷ウォーク大会	一般	11/3	2,144 名
	うつくしまふくしま第 39 回福島県 小学生バレーボール選手権大会	小学生	12/10、11	530 名

場 所	事業名	対 象	実施日	延べ参加 選手数
あづま	第 19 回あづま荒川 クロスカントリー大会	中学生～ 一般	12/11	1,973 名
	第 16 回あづまジュニア体操競技大会	小・中学生	1/8、9	63 名
	あづまU-12 ガールズフットサル 2017	小学生 女子	2/11、12	150 名
空 港	須賀川市大東地区球技大会	一般	6/6	100 名
	ルームズカップ 2016 第 9 回中学生 サッカーフェスティバル	中学生	8/20、21	480 名
	第 6 回翡翠チャレンジカップ ～復興祈念・絆～	小学生	7/2、3	800 名
	第 13 回福島空港公園杯 県南マスターズテニス大会	一般	9/29	雨天のため 中止。
	第 7 回福島空港公園杯 8 人制ジュニア サッカーフェスティバル	小学生	6/11、12	600 名
	第 15 回福島空港公園庭球場オープン 記念ダブルステニス大会（記念大会）	一般	9/25	80 名
	第 11 回福島県ターゲットバードゴル フツーツーボールフォーサム福島県大会	一般	9/29	60 名
	第 5 回福島空港公園 秋季選抜 ジュニアシングルステニス大会 （記念大会）	中学生	10/8、9	128 名
	須賀川市市民体育祭 サッカー競技小学生大会	小学生	11/3	200 名
	第 10 回福島空港公園杯 グラウンド・ゴルフ大会（記念大会）	一般	10/31	500 名
	第 10 回福島空港公園杯 少年フットサル大会（記念大会）	小学生	11/5、6	600 名
逢 瀬、 センター	第 7 回ノルディック ウォーキング大会 in 郡山 2016	一般	6/4	102 名

3) ニュースポーツ普及指導事業

- ・グラウンドゴルフ、ディスクゴルフなどの体験会を春の感謝デー等で開催した。
(あづま 参加者数 延べ99名)
- ・園内でのニュースポーツ活動、地域住民への器具貸出しを実施した。
(あづま 貸出件数 延べ55件)

4) 他団体連携によるスポーツ普及指導事業

スポーツ関係のNPO法人、各種競技団体などと協働でシニアスポーツ相談及びウォーキング大会を開催し、県民の健康増進に努めた。

場 所	事業名	内 容
あづま	シニアスポーツ相談室の運営	シニア世代の健康増進の一助として、スポーツ・レクリエーション活動に関する情報を継続提供した。相談件数220件
	第14回あづまの郷ウォーク大会	福島県ウォーキング協会や福島西地区行政区等と協働で開催した。11/3、参加者数2,144名。
空 港	第9回空のみちウォーク2016	NPO法人や地域の団体と協働で空港公園や空港周辺を歩くウォーク大会を開催した。11/13、参加者数950名。

5) 職員が有する能力及び資格を活用したスポーツ普及指導事業

公園資源や職員の持つ資格や技術を活用し、県民の健康づくりに寄与する事業を実施した。

- ① 水泳指導（小学生初心者水泳教室、ワンポイント水泳教室、水連合宿）
- ② サッカー指導（ガールズサッカースクール、主催フットサル大会の審判等）
- ③ アーチェリー指導（合宿、練習会）
- ④ トレーニング指導（高校生ウェイトトレーニング教室（他団体へ派遣）等）

6) 月会員制事業

① 体育館トレーニング室

大人2,470円、高校生1,240円で、期間内1日1回2時間まで何日でも使用が可能な月利用料金を設定した。（本年度登録者数は、延べ853名）

また、シルバー月会員1,850円（期間内1日1回2時間まで、平日13時～16時までに入室）を設定した。（延べ24名）

② 体育館室内プール

大人3,700円、4歳児～高校生1,850円で、期間内1日1回何日でも使用が可能な月利用料金を設定した。（延べ167名）

また、シルバー月会員（65歳以上）2,470円で、期間内1日1回何日でも使用が可能。（延べ306名）

③ トレーニング室・プール共通

大人4,940円、シルバー（65歳以上）3,490円、生徒2,470円で、期間内プール1日1回、トレーニング室1日1回2時間まで、何日でも使用可能な会員制度を設定した。（延べ11名）

(2) レクリエーションの普及指導事業

1) レクリエーション事業

公園のみどりの豊かさや楽しさを知っていただくため、「あづま子どもまつり」をはじめ各公園において体験型イベントを実施した。また、県民の生涯学習の場として知識や技術を向上させるため、「公園カルチャー教室」等を開催した。

場 所	事 業 名	内 容
あづま、空港、逢瀬、センター、民家園	公園フォトコンテスト	「大切なひととき」をテーマに、喜び、感動、思い出の瞬間や風景等、たくさんの人々に伝えたい、残したい公園のワンシーンを訴求したフォトコンテストを企画した。「第9回フォトコンテスト」入賞作品を展示(あづま、センター、空港、コラッセ福島、福島県庁)し、「第10回フォトコンテスト」には363点の応募があった。
あづま	みどりの県民カレッジ	公園のボランティア活動の人材育成を目的に、公園の特色を活かした講座を8回開催した。参加者数198名。
	みどりのサポーター(団体)の活動	公園内での貢献活動と技術習得の場を企業、団体等に提供した。また、JA新ふくしまが園内清掃を行った。全6回開催。参加者数79名。
	みどりのボランティア(個人)の活動	草花栽培などの技術習得の場を提供し、地域のボランティアリーダーの養成を目指した活動を10回開催した。参加者数102名。
	緑と花のあふれるまちづくり	福島商工会議所女性会とともに草花の栽培などを行い、地域の美化に取り組んだ。6回開催。参加者数46名。
	あづまバラ愛好会の活動	バラ栽培を学ぶ場として、公園の香りのバラ園を活用し技術指導などを行った。班活動を含め24回開催。参加者数621名。
	公園カルチャー教室	募集した講師(講座)による教室を春・秋2期54講座開催した。参加者数481名。
	あづま森の楽校	公園の豊かな自然の中での活動を通し、森の恵みや元気と希望を与えることを目的とした体験型の教室を前期・後期11回開催した。参加者数93名。
	公園の自然探訪	福島県もりの案内人の会によるガイドで、公園を代表するサクラ、ヤマユリ、バラ、イチョウの鑑賞会を4回開催した。参加者数43名。

場 所	事 業 名	内 容
あづま	春の感謝デー	公園の新緑の中で県民が参加し楽しめる、フリーマーケット、ステージショー、各種体験会などを開催した。4/29、参加者数 6,276 名。
	福島っこ応援 みどりと花の教室 2016	子供たちが楽しく植物と触れる機会を提供する教室を 3 回開催した。参加者数 60 名。
	あづま子どもまつり【新規】(同時開催スタジアムの芝生で遊ぼう)	子供たちの健康増進と自然とのふれあいを目的に、身体全体を使い楽しく思いっきり遊んでもらうイベントをとうほう・みんなのスタジアムで実施した。6/19、9/18、参加者数 668 名。
	ラベンダー摘み取り&ラベンダースティックづくり体験会	公園資源を活用し、県民に楽しみと安らぎ、元気と希望を与える活動の場を提供することを目的に開催した。7/11、参加者数 29 名。
	「公園の達人」宿泊体験	公園の自然の中で、宿泊体験を通し公園の可能性や自然の大切さを学ぶことを目的に開催した。 京都府公園公社との緑化交流事業との共同開催。8/5~8/7、参加者数 14 名。2/25、26 参加者数 12 名。
	冬のキッズフェスタ	子どもたちが参加するイベントを開催し、公園への親しみを醸成した。12/18、参加者数 2,500 名。
空 港	手作り体験教室	とんぼ玉、手作りピザ、つる編み、ミニ門松づくりの各教室を開催した。5 回、参加者数 137 名。
	空港公園で農体験	みんなの野菜畑(植え付け、勉強会、収穫祭、芋掘り)を開催した。参加者数 120 名。
	空港公園自然塾【新規】	昆虫トラップづくり、木の枝クラフト、森の中で原始人になろうなどを実施した。12 回、参加者数 352 名。
	カブトムシ観察舎の設置	子どもたちの利用促進を図るため、エアフロントエリア、緑のスポーツエリアにカブトムシ観察舎を設置した。7/24~8/28、観察者数 811 名。

場 所	事 業 名	内 容
逢 瀬、 センター	坂道ウォーキングによる健康増進機 会の発信	園内の起伏に富んだウォーキングコースの整備と案 内看板の設置を行った。また「坂道健康ウォーキ ングコースマップ」をスタート地点や売店、休憩 所に配置した。
	みどりを感じる手づくり講座	地元の陶芸家や染織家を講師に陶芸と草木 染めの体験を始め、職員が講師となり門松づ くり教室を開催した。参加者数 49 名。
	園芸福祉活動コーナー	高齢者施設の利用者等に車椅子でも気軽に 園芸体験ができる場を提供した。
	庭園ミニコンサート	日本庭園を会場に、みどりの中でアマチュア 音楽家によるミニコンサートを企画したが 参加希望者がいなかった。
	国蝶オオムラサキ・甲虫観察舎 の開設	国蝶オオムラサキとカブトムシなどの昆虫 の観察舎を設置して、子どもたちの利用促進 に努めた。6月～8月、入場者数 4,259 名。
	逢瀬のもりの自然体験&自然 発見ウォーク	春と秋の自然観察とバードコールづくり、鳥 の餌台づくり&冬鳥観察、またスノーシュー体験と 雪上観察を開催した。参加者数 50 名。

2) 他団体連携によるレクリエーション普及指導事業

各公園において、地域の団体や学校などと協働で「ふくしま手づくりマルシェ」、「ふくしまキッズ博」、「みどりのサポーター活動」などを開催し、地域の公園として、地域の活性化等の役割を担いながら、公園利用者の増に努めた。

場 所	事 業 名	内 容
あづま	みどりのサポーター（団体）の活動	福島明成高等学校に芝生のメンテナンスや樹木の剪定実習の場を提供した。また、JA新ふくしまが園内清掃を行った。全6回開催。参加者数79名。
	緑と花のあふれるまちづくり	福島商工会議所女性会とともに、草花の栽培などを行い、地域の美化に取り組んだ。6回開催。参加者数46名。
	あづま森の楽校	福島県もりの案内人の会と共催で、公園の豊かな自然の中での活動を通し、森の恵みや元気と希望を与えることを目的とした体験型の教室を前期・後期全11回開催した。参加者数93名。
	公園の自然探訪	福島県もりの案内人との協働事業により、サクラ・ヤマユリ・バラ・イチョウなどの季節の樹木や花の鑑賞会を行った。4月、6月、7月、10月 全4回、参加者数43名
	ふくしま手づくりマルシェ	手づくり品の展示販売を通して、県内外の観光客を誘致し、活性化と安全性をPRした。5/21、22、参加者数38,000名。
	ふくしまキッズ博	子ども対象の玩具遊びなどを通して福島の魅力を再認識してもらうイベントを開催した。7/30、31、参加者数33,210名。
	第12回西方部親善木球大会 兼あづま杯木球大会	福島市西地区体育振興協議会と共催で初心者でも参加できる木球のオープン大会を開催した。9/22、参加者数45名。
	イチョウ並木の手づくりミニコンサート	黄葉のイチョウ並木道において、応募した出演者と観客の交流を目的に開催した。あづまTeshi-got 市場と同時開催。10/29、来園者数998名。

場 所	事 業 名	内 容
あづま	第7回あづま Teshi-got 市場	手づくり品を通じた交流を目的にイベントを開催した。10/29、30、来園者数 35,608名。
	第14回あづまの郷ウォーク大会	福島県ウォーキング協会や福島西地区行政区等と協働で開催した。11/3開催。参加者数 2,144名。
空 港	YOSAKOI in 空港公園	地域のよさこい団体から参加者を募集し、活動と披露の場を提供した。5/15、来園者数 8,875名。
	第5回福島空港公園 handmademarket「ソライチ」	地域の手作り愛好者団体と協働で、手づくり品を販売するイベントを開催した。6/4、5来園者数 42,065名。
	十五夜音楽会	地域で活動している音楽グループ、語部の会と協働で、十五夜音楽会を開催した。9/18、参加者数 300名。
	サンタさんのコンサート	クリスマスの時期に合わせ、コンサートを実施した。12/23、参加者数 100名。
	空のみちウォーク	NPO 法人や地域の団体と協働で空港公園や空港周辺を歩くウォーク大会を開催した。11/13、参加者数 950名。
	「空港公園」そば道場	NPO 法人と協働で、空港公園「そば畑」で栽培したそば粉を活用した、そば道場を開催した。12/11、参加者数 100名。

場 所	事 業 名	内 容
逢 瀬、 センター	春の山野草展、秋の盆景展	センターを拠点として活動するみどりの愛好会（2団体）と協働で、山野草の展示会を開催した。入場者数 959 名。
	キャベツ餅MUSIC LIVE 2016	地元「安積アルプス出逢いプロジェクト」の事業として、逢瀬公園わんぱく広場を会場に、3回目となるキャベツ餅MUSIC LIVEを開催した。当日は時折雨が激しく降る悪天候により来園者が少なかった。参加者数 1,498 名
	福島っ子応援木の枝クラフト体験会	福島県もりの案内人の会と協働による木の実や木の枝を材料としたクラフト体験会は、さくらまつりの際は荒天のため中止となり、秋の感謝時の1回のみで開催となった。参加者数 158 名。
	朝採り野菜市	地域の生産者と協働で地域の活性化と公園利用の促進に努めた。6月～11月、利用者数 335 名。
	逢瀬公園秋の感謝祭	わんぱく広場を会場に、地域の各種団体の協力を得ながら開催した。天候にも恵まれ参加者は過去最高となった。参加者数 3,257 名
民家園	鉄工芸懐古の灯り展	旧広瀬座において、古民家のライトアップに合わせて鉄工芸灯りの展示を行った。 4/9～4/17、参加者数 1,972 名
	アフターデスティネーションキャンペーンへの協力	旧広瀬座において「梅沢富美男ふくしまトークショー」、「中国舞踊等」が開催された。 6/5、12、参加者数 1,302 名
	民家園ふれあい祭り	古民家を利用したお茶会や工作体験、地域産の新そばの販売、餅つき、スタンプラリーなど市民団体協働のまつりが開催された。 11/5、参加者数 1,228 名

3) 地域連携によるレクリエーション普及指導事業

地域の自治会や商工会等の団体と協働で「緑と花のあふれるまちづくり」等様々なイベントを開催し、地域の活性化に取り組んだ。また、「西いきいきふれあい合宿の受け入れ」等により、地域と連携しながら子どもたちの育成に努めた。

場 所	事 業 名	内 容
あづま	「地域に学ぶ中学生体験学習」の生徒受け入れ（市内各中学校）	地域の中学校が行う職場体験学習を受け入れ、施設の見学や職員の行っている業務体験を行った。参加者数 2 校より 8 名。
	みどりのサポーター（団体）の活動	福島明成高等学校には芝生のメンテナンスや樹木の剪定実習の場を提供した。また、JA新ふくしまが園内清掃を行った。全 6 回開催。参加者数 79 名。
	緑と花のあふれるまちづくり	福島商工会議所女性会とともに、草花の栽培などを行い、地域の美化に取り組んだ。6 回開催。参加者数 46 名。
	あづまバラ愛好会の活動	ローズガーデン指導員とともに、公園のバラ園を学びの場として活用し、技術指導などを行った。班活動を含め 24 回開催。参加者数 621 名。
	西いきいきふれあい合宿の受け入れ	地元の小学生の宿泊体験を宿泊施設を利用して開催し、子どもたちの育成に寄与した。6/20～24、参加者数 16 名。
	子ども応援プロジェクト（絵本ぶんこ読み聞かせ）	地域の読み聞かせ団体と協働で、来館した幼児とその保護者を対象に読み聞かせを開催した。3/11、12、参加者数 90 名。

場 所	事 業 名	内 容
空 港	空港公園ふれあいデー	地域で活動する各種団体と連携し、空港公園を地域活動拠点とすることを目的に、フリーマーケット、ミニコンサート、ハワイアンダンス、おもしろサイクル、フライングディスク、どんぐり飾りやプラ板づくり、地域物産販売、飲食テント村等を4月～9月、3回開催した。来園者数3,518名。
	花づくりサポート事業	地域の緑化の普及・啓発を図るため、協会で栽培した草花を地域の美化運動へ提供した。6月初旬、マリーゴールド、サルビア苗1700ポット、10月中旬パンジー苗200ポット。また、5月15日、9月17日の福島空港祭に合わせ、それぞれ1,000ポット合計2,000ポットを市民に無料で配布した。
	花のまちづくり推進事業【新規】	市民が参加して栽培した花苗で地域環境の美化活動や地域おこしを行うことを目的に、4月から10月まで6回延68人が参加し、2,000ポットの花苗を地域に寄贈した。
逢 瀬、 センター	逢瀬公園さくらまつりの開催	地域の商工会と実行委員会を組織し準備を進めてきたが、前日からの雨と強風により中止となった。
民家園	荒井寒さらしそば祭り in 民家園	民家園において、福島市からの受託により、周辺地域産によるそば祭りを実施した。 4/9、参加者数1,946名
	縁側の山野草展・即売会	古民家の風情と稀少な山野草の展示会を開催し、苔玉作り体験会や即売会も行った。 6/4、5、参加者数1,132名。

4) サイクルスポーツ広場事業

変わり種自転車や一輪車、バッテリーカー、そり(無料)の貸出を行った。年4回、無料開放日を設け、家族団欒と子どもたちの健康増進の場の提供に努めた。

利用者数は、延べ438,677名、有料自転車等利用者数は207,263名、バッテリーカー利用者数20,485名であった。(あづま)

(3) 体力の増進事業

場 所	事 業 名	内 容
あづま	軽運動室の無料開放	震災後、運動機会が減っている子どもたちの健全育成や体力増進を応援するため、小学生以下を対象に、有料施設である軽運動室を無料開放した。利用者数 67,203 名。

(4) その他の事業

1) 文化伝承事業

七夕、風鈴やハロウィン、クリスマスなど、季節にふさわしい室内展示や生活・文化を伝承する通年の行事を開催した。

場 所	事 業 名	内 容
あづま	季節感を創出する伝統文化の展示	季節に合わせて、七夕飾りと風鈴をはじめ、門松製作及び設置、団子さし、お月見、ハロウィン、クリスマス飾りを展示した。
空 港	季節の伝統行事を楽しむ	七夕の短冊飾り、クリスマスツリー飾り、団子さし、おひな様飾りを地域の幼稚園児等と制作し、エアフロントエリア休憩所に展示した。4月～2月、参加者数 175 名。
民家園	年中行事・体験行事・実演行事・ボランティアガイド	年中行事等の再現や来園者へのガイドの手配等円滑な運営に努めた。
	全国のだるま展示会・絵付け体験	寄贈品の展示と展示品を活用した絵付け体験を実施。施設の利活用に寄与した。12/17～2/25、参加者 90 名。
	お正月遊び体験	民家園を活用した昔ながらのお正月遊びを来園者に提供した。1/4～1/9、445 名。

2 都市公園並びにスポーツ・レクリエーション及び歴史・文化・自然に関わる施設の管理運営事業【公益目的事業】

(1) 指定管理施設

1) 指定管理者としての施設の維持管理業務

施設名	面積 (㎡)	維持管理施設
あづま総合運動公園	88.2	総合体育館ほか有料施設 11施設 巨石広場ほか無料施設 10施設 (クライミングウォールを含む)
福島空港公園	52.1	庭球場ほか有料施設 4施設 日本庭園ほか無料施設 9施設
逢瀬公園	17.3	桜の広場ほか無料施設 5施設
総合緑化センター	16.5	管理棟 1施設 日本庭園ほか無料施設 17施設
福島市民家園	11.0	古民家 11施設 展示館、管理棟、休憩棟 3施設

(2) 施設管理運営事業

1) 定期的な巡視

安全・安心な施設を提供するため、定期的な巡視を行い、異状があった場合は適切な対応に努めた。(あづま、空港、逢瀬、センター、民家園)

2) 点検作業

適正な施設の維持管理と点検作業の体系化を図るとともに、遊具の日常管理や保守点検に努めた。(あづま、空港、逢瀬、センター、民家園)

3) 修繕計画

有資格者の職員による施設点検を行い、更新などの修繕計画を作成した。また、福島県などの施設管理者に予算確保のための資料として提出した。(あづま、空港、逢瀬、センター、民家園)

4) 災害等の対応

来園者の安全確保や不法行為の防止及び災害等の不測の事態に備えるために、避難誘導訓練や普通救命講習などを実施した。(あづま、空港、逢瀬、センター、民家園)

5) 放射線量測定

園内各施設の放射線量を定期的に測定し、ホームページや掲示板への掲示により利用者に情報を提供した。(あづま、空港、逢瀬、センター、民家園)

6) 古民家等の適切な管理

貴重な古民家及び民俗資料を次世代に引き継いでいくため、適切な管理に努めた。(民家園)

(3) 緑地管理事業

- ① 各植物の特性に配慮した植栽管理に努めた。(あづま、空港、逢瀬、センター、民家園)
- ② 生育状況や利用に応じた適切な芝生管理に努めた。(あづま、空港)
- ③ 植物調査票による植生管理を行った。(あづま、民家園)
- ④ 景観性に配慮した植栽管理に努めた。(あづま、空港、逢瀬、センター)
- ⑤ 貴重な植物の保護に取り組んだ。(あづま、逢瀬、センター)
- ⑥ 季節毎に楽しめる草花管理、自然美に配慮した下草管理、意匠性と自然美を融合させた植栽管理に努めた。(あづま、空港、逢瀬、センター)
- ⑦ 日本庭園において日本らしさ、郷土性、季節感の感じられる緑地管理に努めた。(空港)
- ⑧ 樹木の枯れ枝などを巡視で発見し剪定を迅速に行った。(あづま、空港、逢瀬、センター)
- ⑨ とうほう・みんなのスタジアム、あづま球場の芝グラウンドにおいてプロスポーツ利用に配慮した芝生補修を迅速に行った。(あづま)

(4) 有料施設管理事業

- ① 有料施設の適正な利用受付及び貸出業務を行うことにより、公平・公正な貸出に努めた。(あづま、空港、センター)
- ② 有料施設の公平・公正な貸出を確保するための利用者会議の開催及び有料施設の年間利用計画の策定に努めた。(あづま、空港)

(5) 指定管理施設の利用者数

あづま総合運動公園では、音楽を通じて社会貢献活動を呼びかける「ロックコープス」や2016年に再結成され話題となった「ザ・イエロー・モンキーのコンサート」等集客力のある興行イベントが開催されたことにより、体育館では昨年比で約8%（約2.6万人）利用者数が増加した。また、バッテリーカーを導入して一年が経過したサイクルスポーツ広場でも約3%（約1.1万人）の増加が見られた。その一方、前年に開催された全国中学校軟式野球大会や高校野球の県大会の会場とならなかったことで、あづま球場では約42%（約3.9万人）の減少が見られた。さらに、天候等の不良により散策等で訪れる利用者数が約12%（約9.4万人）減少した。この結果、利用者数は前年度を約5%（約9.0万人）下回る結果となった。

福島空港公園では、庭球場や多目的運動広場などの有料施設の利用者数は前年度より約3.2%（約1.8千人）減少した。これは、大規模な大会が少なく、小規模な大会が殆どであったことによる。一方、園内の散策や幼稚園、小学校などの遠足、バーベキューなどを楽しむ野外活動広場の利用者は前年度より増加した。また、「空港公園ふれあいデー」や「福島空港公園 handmademarket ソライチ」などのイベントが多くの方に知られるようになったことから、利用者数が約2%（約1万人）増加した。

逢瀬公園・緑化センターでは、一般散策者の数は前年度とほぼ同じであるが、春の最大イベントである「さくらまつり」が雨で中止となったことなどから、前年度を約8%（約1.4千人）下回る利用者数となった。

民家園においては、年中行事への参加者や一般散策者の数は前年度とほぼ同じであるが、昨年度まで開催されていた大規模イベントの「FOR座REST」が開催されなかったことにより、利用者数が約12%（約5千人）減少した。

単位：人

公園名	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	対前年度比
あづま	1,383,641	1,156,648	1,890,242	1,507,945	1,772,697	1,839,769	1,750,177	95.1%
空港	432,972	379,192	420,787	474,787	438,047	508,824	519,573	102.1%
逢瀬 センター	162,339	129,160	139,544	163,554	180,757	183,637	169,762	92.4%
福島市 民家園	47,175	15,969	33,380	36,183	38,047	46,169	40,515	87.8%
合計	2,026,127	1,680,969	2,483,953	2,182,469	2,429,548	2,578,399	2,480,027	96.2%

3 都市公園等に関する情報の収集、広報、調査研究及び利用促進並びに地域づくりに関する事業【公益目的事業】

(1) 都市公園等の情報収集事業

- ① イベント開催時に公園利用者へのアンケート調査を実施し、分析結果を次の開催に反映した。(あづまでのライトアップイベント時に実施。対象イベント数 6 件、回収数 726 件)
- ② 公園管理運営の意見や苦情をホームページや意見箱などで収集した。
- ③ 大会開催時等に利用団体等から施設や運営について意見や感想などの情報収集を行った。
- ④ 他類似公園の管理運営に関する情報の収集を行った。

(2) 都市公園等の広報事業

- ① マスメディアを活用した広報活動を積極的に展開した。(あづま、空港、逢瀬、センター、民家園)
- ② スポーツ団体、学校、各種団体等に対し施設利用誘致活動に努めた。(あづま、空港、逢瀬、センター、民家園)
- ③ 協会発行の広報誌配布による県民への情報提供を行い、利用促進に努めた。(あづま、空港、逢瀬、センター、民家園)
- ④ 園内で見られる花を図鑑として作成し、これを花の時期に掲示することにより、みどりの普及・啓発に努めた。(あづま、逢瀬、センター、民家園)
- ⑤ ホームページ掲載中の各施設の現況や大会・イベント開催状況などの情報をこまめに更新することにより、来園者へ最新の情報が伝わるよう利便性向上に努めた。(あづま、空港、逢瀬、センター、民家園)
- ⑥ ホームページ「公園の四季」において、園内の開花状況などのみどりに関する情報を随時提供した。(あづま)
- ⑦ ツイッターを活用し、リアルタイムな情報提供と情報交換に努めた。(あづま、民家園)
- ⑧ 電光掲示板やデジタルサイネージ(電子看板)を活用し、リアルタイムな情報提供に努めた。(あづま)
- ⑨ 植物学習の場を提供するため、植物名板の充実に努めた。(あづま、逢瀬、センター、民家園)
- ⑩ インターネットのブログの日常的な更新を行い、公園の最新情報の提供に努めた。(空港、逢瀬、センター、民家園)
- ⑪ 年間を通し、公園で開催される大会やイベント内容を園内掲示板への掲示し、情報提供を行った。また、公園に対する意見・要望への回答も掲示した。(あづま、空港、逢瀬、センター、民家園)
- ⑫ 公園利用者が所有する情報を交換できる「みんなの公園情報掲示板」を休憩所に設置し、利用者の交流の場を提供した。(逢瀬、センター)

- ⑬ 地域団体との協働により、アフターデスティネーションキャンペーン事業へ参画した。(あづま、民家園)
- ⑭ 地域と連携し、公園及び隣接する河川沿いの桜の維持活動を行う新名所「逢瀬さくらの里」づくりに参画し、桜の維持管理をはじめ、秋桜や菜の花の種蒔きなどを行った。(逢瀬、センター)

(3) 都市公園等の調査研究事業

- ① 全国公園協議会の現地検討会へ職員を参加させ、情報収集や情報交換を行った。

(4) 都市公園等の利用促進事業

1) 施設の特性を活かした事業の推進

- ① 距離表示板の設置やマップ作成等を行い、園内ウォーキングコースの充実に努めた。(あづま、空港、逢瀬、センター)
- ② 公園案内、スポーツ指導、イベント補助、年中行事の伝承などにおいて、ボランティア活動の場を提供した。(あづま、空港、逢瀬、センター、民家園)
- ③ あづまボランティア、みどりのボランティア、みどりのサポーター、バラ愛好会、福島空港公園ボランティア、おうせボランティアの育成を図るとともに活動の場を提供した。(あづま、空港、逢瀬、センター)
- ④ 軽運動室を復興支援として引き続き無料開放した。(あづま)
- ⑤ 次の有料施設に「個人サービスデー」を設け、個人利用者に無料開放した。(あづま、空港)
 - ア あづま総合運動公園 (5/5、8/11、10/10、12/18 年4回)
プール、体育館トレーニング室、陸上競技場(トレーニング室含む)、庭球場、サイクルスポーツ広場。利用者数は21,611名。
 - イ 福島空港公園(毎月1回)
庭球場。利用者数は1,125名。
- ⑥ 利用者の利便性向上のため、下記施設で利用時間を19時まで延長する「サマータイム」を実施した。(あづま)
 - ア あづま総合運動公園
庭球場(7/2~8/21)、サイクルスポーツ広場(7/16~8/21)。利用者数は488名。
- ⑦ 福島空港公園フットサルコートの特典サービス(年間)(空港)
フットサルコートにおいて、10時間利用で1時間分無料の回数券を発行した。

- ⑧ 学校や幼稚園等の遠足・見学等を随時受け入れた。なお、雨天の際には休憩の場として、屋内施設を提供した。(あづま、空港、逢瀬、センター、民家園)
- ⑨ 公園利用の促進を図るとともに、芝グラウンドのプロスポーツ利用に対応するため、3月～11月末まで使用可能とするよう芝生の養生管理に努めた。(あづま)
- ⑩ NPO法人のスポーツクラブを支援し、協働でカルチャー教室の開催やシニアスポーツ相談室の運営を行った。(あづま)
- ⑪ サクラやヤマユリ、古民家などの公園資源を活用したライトアップを開催し、公園の魅力を発信した。(あづま、民家園)
- ⑫ 日本らしさと四季の演出、公園の新たな魅力の再発見を目的に、日本庭園マツの雪吊りを実施した。(空港)
- ⑬ 公園資源を活用したラベンダーの摘み取り体験会やスティックづくりなどのイベントを開催し、各種植物園(バラ園、アジサイ園、シャクナゲ園、ヤマユリ園)の魅力を発信した。(あづま)
- ⑭ ヤマユリ群生地の保全を図るとともに、アジサイ園、シャクナゲ園、バラ園の植物園としての適切な管理に努めた。(あづま)
- ⑮ バラの愛好者が集い、公園内のバラ園を活用して栽培技術などを学ぶ「あづまバラ愛好会」の活動を支援した。(あづま)
- ⑯ 草花の栽培技術の伝達などを通し、地域団体をみどりで支援する「緑と花のあふれるまちづくり」事業に取り組んだ。(あづま)
- ⑰ 条例で休館日となっている第3日曜日も開館し、公園利用者の利便を図った。(センター)
- ⑱ ウォーキングを楽しむ利用者への更なる情報提供を充実させるため、逢瀬公園坂道健康ウォーキングマップ&周辺のんびりウォーキングマップを西駐車場に配置した。(逢瀬、センター)
- ⑲ 公園利用者の利便性の向上と地域連携を目的に開店した「公園の駅おうせ茶屋」の運営に協力した。同施設は、郷土料理「キャベツ餅」の販売や地域食材を活用した飲食サービスの他、公園や周辺地域の観光情報の提供等にも取り組んでいる。(センター)
- ⑳ 植物名板や解説板の増設を行うとともに、薬用植物園内に新たに薬草ハーブコーナーを整備し、施設の魅力アップを行った。(逢瀬、センター)
- ㉑ 古民家の風情を活かした「縁側の山野草展・即売会」、「生花展示」、「だるま絵付け体験」や寄贈された民具を活用した「着物展示」、「だるま展示」を開催し、利用促進を図った。(民家園)
- ㉒ 福島市小鳥の森と共催で、「コーヒーを飲みながら野鳥の声を聞こう」他2事業を開催し、民家園の新たな魅力発信を図った。(民家園)
- ㉓ 利用者からの要望に応え、卓球台を設置し、貸し出し(有料)を行った。(空港)

(5) 都市公園等の地域づくり事業

商工会と協力して花苗の栽培を行う等、地域の団体との協働による様々なイベントを開催するとともに、ボランティアの受入れや育成を通し、地域の活性化や地域づくりのリーダーとなる人材等の育成に取り組んだ。

場 所	事 業 名
あづま	「地域に学ぶ中学生体験学習」の生徒受け入れ（市内各中学校）
	子ども応援プロジェクトの実施
	みどりのサポーター（団体）の活動
	みどりのボランティア（個人）の活動
	緑と花のあふれるまちづくり
	あづまボランティアの活動
	あづまバラ愛好会の活動
	西いきいきふれあい合宿の受け入れ
	あづまの郷ウォーク大会
空 港	空港公園で夢体験
	空港公園ふれあいデー
	空のみちウォーク
逢 瀬、 センター	地域の花いっぱい運動への花苗の栽培提供
	「出逢いのまち逢瀬」、地域づくりへの取り組み
	逢瀬さくらの里づくりへの取り組み
	朝採り野菜市

4 緑化に関する普及指導、情報の収集及び調査研究に関する事業【公益目的事業】

(1) 緑化推進の普及指導及び情報収集事業

1) 公園資源を活用した緑化推進事業

- ① 公園資源を活用した「あづま香りのバラ園まつり」やライトアップを開催するとともに、花苗の無料配布や各種体験会を実施し、緑化の推進に努めた。

場 所	事 業 名	実施日	参加者数
あづま	あづまバラ愛好会の活動 24 回開催	4/8～2/20	621 名
	サクラの光のファンタジー	4/9～4/17	9, 326 名
	あづま森の楽校	4/17～2/19	93 名
	公園の自然探訪	4/22、6/23、 7/17、10/22	43 名
	みどりのボランティア（個人）の活動	4/22～3/24	102 名
	春の感謝デー花苗配布（1, 000 ポット）	4/29	500 名
	ジャンボかぼちゃづくり	5 月～10 月	—
	みどりのサポーター（団体）の活動	5/23～12/5	79 名
	緑と花のあふれるまちづくり	6/17～11/11	46 名
	スタジアムの芝生で遊ぼう（同時開催あづま子どもまつり）	6/19 9/18	668 名
	ヤマユリ光のページェント	7/2～7/24	10, 005 名
	ラベンダー摘み取り&ラベンダースティックづくり体験会	7/11	29 名
	「公園の達人」宿泊体験	8/5～7 2/25、26	26 名
	あづま「香りのバラ園まつり」	6/4、5	7, 320 名
	イチョウ光のプロムナード	10/22～11/20	8, 850 名
	光の T R E E ページェント	12/18～1/15	7, 857 名
	あづま「パークマスター」育成事業	3/18	10 名
	園内掲示板への花だより情報の掲載	年間	—
協会発行広報誌への「花だより」情報の掲載	2 月	—	

場 所	事 業 名	実施日	参加者数
空 港	花のまちづくり推進事業【新規】	4/7、4/27、 6/2、8/26、 9/15、10/20	68名
	花づくりサポート事業	5/15、9/17	2,000名
	空港公園で農体験	5/19、10/19	120名
	みどりのカーテン設置	5/25～9/14	—
	マツの雪吊り	12/4～3/31	—
逢 瀬、 センター	みどりに親しんでもらうための展示と工夫	通年	—
	みどりの日記念花苗無料配布	5/4	300名
	山野草展	5/21、22 10/21～23	959名
	きのこを通して森を学ぶ親と子の環境学習事業【新規】	5/20、6/26、 7/9、9/24	122名
	夏休みみどりの絵画募集	9/1～9/11	92名
民家園	みどりのカーテン設置	5/18～9/18	—
	縁側の山野草展	6/6、7	803名
	植物見頃情報板の設置	通年	—

- ② 緑化に関する知識の向上を目的に、家庭園芸の基礎を学ぶ各種教室や自然とふれあう体験教室を開催することにより緑化の普及に努めた。

場 所	イベント名	実施日	参加者数
あづま	あづま森の楽校	4/17～2/19	93名
	公園の自然探訪	4/22、6/23、7/16、10/22	43名
	うつくしま巨樹・古木めぐり	5/27、7/29、9/23、11/25	165名
	福島っ子応援みどりと花の教室	6/12、7/2、10/23	60名
空 港	空港公園自然塾【新規】	4/9、5/7、6/12、7/23、8/20、 9/10、10/8、11/19、12/10、 2/18、3/18	352名
	季節を彩るフラワーアレンジ	5/28、7/2、9/10、11/5、 12/24、2/11	95名

場 所	イベント名	実施日	参加者数
空 港	福島っ子応援みどりと花の教室	6/18、7/2、10/29	69名
	季節を楽しむ「みどりの講座」	5/20、6/17、7/15、8/5、 9/16、10/21、11/18、 12/18	173名
	樹木剪定専門技術研修	6/25・26、11/26、12/4	46名
逢 瀬、 センター	暮らしを彩るみどりと花の講座【新規】	7/2、9/17、11/10、12/9、 3/4	55名
	スローライフを楽しむハブ講座【新規】	4/25、6/15、7/6、 8/25、9/23、12/1	136名
	実践で学ぶ庭木の剪定講座【新規】	5/13、5/23、6/10、9/3、 10/13、11/1、11/10	48名
	笑顔広がるにこにこバラ講座	5/31、6/23、10/19、 11/18	118名
	逢瀬のもりの自然体験&自然観察ウオーク【新規】	5/14、5/4、11/13、 11/27、2/11	50名
	きのこを通して森を学ぶ親と子の環境学習事業【新規】	5/20、6/26、7/31、 9/24	122名
	福島っ子応援みどりと花の教室	6/19、7/9、10/30	58名
	逢瀬さくら講座【新規】	3/22	61名

2) 職員が有する能力及び資格を活用した緑の普及指導事業

みどりの専門分野の知識・能力を活用し、ガーデニング教室、園芸教室等の教室や講座の開催により、みどりの普及啓発に努めた。

場 所	事 業 名	内 容
あづま、逢瀬、センター	うつくしま巨樹・古木めぐり	巨樹・古木を通して、歴史や樹木の生態やみどりへの関心を持ってもらうことを目的にあづま発とセンター発で4回開催した。参加者数165名。
あづま	みどりの県民カレッジ8回開催	公園の特色を活かした親しみのある講座の中で職員が持つ技術提供を行った。参加者数198名。
	花とみどりの復興活動支援事業成果発表会	(公財)国際花と緑の博覧会記念協会と連携し、「東日本大震災の復興に花とみどり」をテーマに活動している団体の成果発表会をコラッセ福島で開催した。3/17、参加者数90名。
空 港	「みどりの講座」	家庭での庭づくりやガーデニングの基礎知識を公園から伝えることを目的に、8回の講座を開催した。参加者数173名。

場 所	事 業 名	内 容
逢 瀬、 センター	芝生の葉アートを楽しもう	みどりに親しんでもらうことを目的に、芝生の広場で、地域の子どもたちに手動芝刈り機を使って芝刈り作業を体験してもらった。緑の芝生の中に大きなハートマークを浮かび上がらせることができた。取材にはTV局3社、新聞社2社が取材に訪れた。5/31、参加者数12名。

3) その他受託事業

グリーンアドバイス事業の受託

- ① あづま総合運動公園・空港公園にグリーン・アドバイス・センターを開設し、一般県民及び市町村、団体から庭木や草花の病害虫の診断や防除指導等、みどりに関する疑問や質問等の相談をみどりの有資格者が受け対応した。

・緑地の設計	17件
・樹種選定・特性	621件
・栽培・増殖	542件
・育成管理	1,465件
・樹勢診断・治療処方	3,474件
・病害虫	395件
・その他	445件

合 計 (6,959件)

うち、相談室内アドバイス	(1,619件)
出張アドバイス	(5,340件)

- ② 講習会等への講師派遣を行った。

・平成28年度福島県もりの案内人養成講座講師	1件
・福島市学習センター	3件
・飯舘村自治会	3件

4) 情報収集事業

みどりに関する季刊誌や県外の公園情報誌等から情報収集を行った。

(2) 緑化推進の調査研究事業

1) リサイクル事業

- ① 剪定枝や松くい虫被害木はチップパーにより減容化し、放射能汚染への配慮が必要なことから、福島市との協議し、クリーンセンターへ処分した。(あづま)
- ② 落葉樹を主とした落ち葉は分別収集し、来年度の花壇堆肥化として再利用するために保管した。(あづま)
- ③ 剪定枝はチップパーにより減容化し、処分施設内に保管した。(空港、逢瀬、センター)

2) 生態系に配慮した事業

- ① 公園内生物調査結果を踏まえ、生態系に配慮した緑地管理を実施した。(あづま、空港、逢瀬)

5 その他、この法人の目的を達成するために必要な事業【収益事業】

(1) 都市公園の管理運営のうち、興行に類するものへの貸出に関する事業

1) 興行に類するものへの貸出状況

- ① J3ユナイテッドホームゲーム(4月3・10・24日、5月8・22日、6月12・26日、7月10日、8月7日、10月2・23日、11月13日、3月26日)、合計13試合
- ② J1公式戦 湘南×神戸(6月5日)
- ③ ロック・コープス(9月3日)
- ④ ザ・イエローモンキー・コンサート(8月27日・28日)
- ⑤ リオオリンピックライブサイト(8月20・21日、9月19日)
- ⑥ プロ野球 巨人×DeNA戦(5月18日)
- ⑦ BCリーグ福島ホープス戦(4月3・5日、6月1・2・11・12日、7月22・23・24日、8月5・6日、9月10日)

(2) 緑化の推進に関する樹木等調査、緑地造成及び緑地管理の受託事業

1) 緑化の推進に関する樹木等調査事業

- ① 街路樹、緑の文化財等の樹勢診断調査及び保全対策の設計、施工
平成28年度指定天然記念物定期診断業務(郡山市)

工期：H28.11.7～H29.3.31

2) 緑地の造成及び緑地管理事業

- ① 各種緑地の調査、設計、管理業務
柳津町森林景観整備計画策定業務(柳津測量設計(株))

工期：H28.12.5～H29.1.31

- ② 福島県立医科大学の緑地管理
福島県立医科大学緑地保全管理業務（公立大学法人福島県立医科大学）
工期：H28. 4. 1～H29. 3. 31
- ③ 「巨木・名木めぐり」講座
巨木・名木めぐり講座実施委託（（株）NHK文化センター郡山支社）
工期：H28. 4. 1～H29. 3. 31

（３）利用者への利便性供与を目的とする物品販売等に関する事業

1) 売店等の設置（あづま、空港、センター）

あづまに1箇所のレストラン及び空港に2箇所の常設売店を設置し、利用者への利便性向上に努めた。

また、センターの売店「公園の駅おうせ茶屋」は4月から11月にかけて営業し、利用者の利便性の向上と地域連携に努めた。

スポーツ大会、イベント開催時の臨時売店などの設置

	臨時売店	フリーマーケットなど
あづま	延べ 221店	延べ 399店
空港	延べ 18店	延べ 60店
センター	延べ 10店	延べ 0店

2) 自動販売機の設置

	飲料水	飲食物
あづま	42台	8台
空港	8台	—
センター	2台	—

3) スポーツ用品の販売（あづま、空港）

卓球ボールやバドミントンのシャトル等、スポーツ用品の販売を行い、利用者への利便供与に努めた。

4) 地域の農産物の販売（センター）

6月～11月に11回開催し、335名の来園者に利用された。

6 その他

熊本地震被災に体する支援

4月29日に実施した「春の感謝デー」等において募金箱を設置するとともに、6月19日に実施した「あづま子どもまつり」において、くまモンの人文字をスクリーンに映し出した。

利用者、職員からの募金に当協会からの支出（10万円）を加え、129,551円を7月11日に日本赤十字社福島県支部に義援金として届けた。

Ⅲ 役員等に関する事項

1 理事、監事の状況

役職	期首 氏名	変更事由等	補充選任 (平成29年4月1日)
			氏名
理事	渡邊宏喜		
理事	石森春男		
理事	林博行	辞任による	佐賀勝
理事	新谷崇一		
理事	遠藤均	辞任による	佐藤弘樹
理事	齋藤義弘	辞任による	安食徹
理事	関根康孝	辞任による	鈴木良治
理事	松本秀樹	辞任による	大高明彦
理事	森崎俊紘		
理事	若松伸司		
監事	齋藤忠		
監事	二瓶正浩	辞任による	根本達弥

2 評議員の状況

役職	期首 氏名	変更事由等	補充選任 (平成28年6月14日)	変更事由等	補充選任 (平成29年4月1日)
			氏名		氏名
評議員	阿部雅人			辞任による	金子市夫
評議員	伊藤直樹				
評議員	齋藤卓夫				
評議員	真田哲也				
評議員	照山成信				
評議員	中村修二			辞任による	杉浦孝幸
評議員	西山尚利				
評議員	橋本隆			辞任による	鈴木和栄
評議員	畑寿子	辞任による	和合アヤ子		
評議員	本多勉				

3 常勤役員の異動状況

なし。

4 常勤役員の兼職状況

兼 職 名	兼 職 者
(公社)福島県森林・林業・緑化協会理事	理事長 渡 邊 宏 喜
(公財)福島県スポーツ振興基金理事	〃
福島県体育施設協会会長	〃
(公財)日本体育施設協会理事	〃

5 理事会及び評議員会の開催状況

開催月日	提 出 議 題
第1回理事会 平成28年5月30日 杉妻会館 出席理事 7名 出席監事 1名	議案第1号 平成27年度事業報告及び附属明細書について 議案第2号 平成27年度決算に係る計算書類及び附属明細書について 議案第3号 平成28年度第1回評議員会の招集(案)について
第1回評議員会 平成28年6月14日 杉妻会館 出席評議員 5名 出席監事 2名	報 告 事 項 平成27年度事業報告及び附属明細書について 議案第1号 平成27年度決算に係る計算書類及び附属明細書について 議案第2号 評議員の補充選任(案)について
第2回理事会 平成29年1月24日 ふくしま中町会館 出席理事 9名 出席監事 2名	報 告 事 項 平成28年度職務執行状況報告について 議案第1号 平成28年度補正予算(案)について 議案第2号 平成29年度事業計画(案)について 議案第3号 平成29年度収支予算(案)について 議案第4号 平成28年度第2回評議員会の収集(案)について

開催月日	提出議題
第2回評議員会 平成29年2月6日 杉妻会館 出席評議員 8名 出席監事 2名	報告事項1 平成28年度職務執行状況報告について 報告事項2 平成28年度補正予算について 報告事項3 平成29年度事業計画について 報告事項4 平成29年度収支予算について
第3回理事会 平成29年3月24日 決議の省略による方法 同意理事 10名 確認書提出監事 2名	議案第1号 平成28年度第3回評議員会の開催(案)について
第3回評議員会 平成29年3月31日 決議の省略による方法 同意評議員 10名	議案第1号 評議員の補充選任(案)について 議案第2号 理事の補充選任(案)について 議案第3号 監事の補充選任(案)について

IV 特記事項

なし。